

2024 年度 日本バイオイメーjing学会

総会資料

2024 年 9 月 29 日
日本バイオイメーjing学会
会長 岡 浩太郎

会場：東京理科大学 葛飾キャンパス 図書館大ホール

議題：2023 年度事業報告、2024 年度事業経過報告および 2025 年度事業計画

総会議案

各委員会より

1. 庶務報告
2. 財務報告
3. 会計監査
4. 企画委員会
5. バイオイメーjing誌委員会
6. bioimages 誌編集委員会
7. ホームページ編集委員会
8. 集会委員会
9. 賞選考委員会
10. 研究助成選考委員会
11. 講習会委員会
12. 国際交流委員会
13. 新技術情報委員会
14. 男女共同参画委員会
15. その他

各委員会資料

1. 庶務報告（加藤(晃)）

23 年度事業報告

- 1) 会報などを各委員会と協力して発送
- 2) 会員情報の管理・更新（「アクセライト」に委託）
- 3) その他

24 年度事業経過報告

- 1) 会報などを各委員会と協力して発送
- 2) 会員情報の管理・更新（「アクセライト」に委託）
- 3) その他

25 年度事業計画

- 1) 会報などを各委員会と協力して発送
- 2) 会員情報の管理・更新（「アクセライト」に委託予定）
- 3) その他

2. 財務報告（太田）

23 年度財務報告

- 1) 23 年度決算報告（添付資料）

24 年度財務経過報告

25 年度財務計画

- 1) 25 年度予算案（添付資料）

3. 監査（木原、船津）

- 1) 会計監査の報告

4. 企画委員会（鈴木(亮)）

23 年度事業報告

- 1) 賛助会員への勧誘
- 2) スカラーシップ（学生会員向け）の設立に向けた計画案提出

24 年度事業経過報告

- 1) 賛助会員への勧誘
- 2) スカラーシップの設立（学生会員向け）

25 年度事業計画

- 1) 賛助会員への勧誘

5. バイオイメージング誌委員会（朽津）

23 年度事業報告

- 1) 和文誌「バイオイメージング」第 32 巻 1 号(通巻 92 号)、32 巻 2 号(通巻 93 号)発行
- 2) 和文誌「バイオイメージング」を Web site で公開、和文誌ホームページの充実

- 3) 投稿（研究室紹介等）呼びかけ、特集記事の充実

24 年度事業経過報告

- 1) 和文誌「バイオイメーキング」第 33 巻 1 号(通巻 93 号)を発行、33 巻 2 号(通巻 94 号)を 2024 年 8 月に刊行予定
- 2) 和文誌「バイオイメーキング」の Web-site での公開、和文誌ホームページの充実
- 3) 投稿（研究室紹介等）呼びかけ、特集記事の充実

25 年度事業計画

- 1) 和文誌「バイオイメーキング」第 34 巻発行
- 2) 和文誌「バイオイメーキング」の Web-site での公開、和文誌ホームページの充実
- 3) 投稿（研究室紹介等）呼びかけ、特集記事の充実

6. bioimages 誌編集委員会（小島）

23 年度事業報告

- 1) Bioimages Vol.31 の論文のアップロード
- 2) 邦文論文の掲載
- 3) Vol.3（1995）以前のバックナンバーのオンライン化

24 年度事業経過報告

- 1) Bioimages Vol.32 の論文アップロード
- 2) 情報検索プラットフォーム EBSCOhost への学会誌収録
- 3) Vol.2（1994）以前のバックナンバーのオンライン化

25 年度事業計画

- 1) Bioimages Vol.33 の論文アップロード準備中
- 2) バックナンバーのオンライン化の継続

7. ホームページ編集委員会（曾我）

23 年度事業報告

- 1) 特になし

24 年度事業経過報告

- 1) 特になし

25 年度事業計画

- 1) 特になし

8. 集会委員会（永井）

23 年度事業報告

第 32 回学術集会

日程： 2023 年 11 月 3 日（金）～ 4 日（土）

会場： 北海道大学学術交流会館

大会長： 三上 秀治（北海道大学電子科学研究所）

参加費： 一般（正会員・協賛学会員：6,000 円、非会員：8,000 円）

大学院生および学部 5 年生以上（学生会員：3,000、非会員：4,000 円） 学部 4 年生以下：無料

公開講座「バイオイメージング技術のスピンアウト」

日程： 2023 年 11 月 5 日（日）9:30-10:30

先端機器見学会・実演会

日程： 2023 年 11 月 5 日（日）10:30-12:00

24 年度事業経過報告

第 33 回学術集会

日程： 2024 年 9 月 29 日（土）～ 30 日（月）

会場： 東京理科大学葛飾キャンパス

大会長： 曾我 公平（東京理科大学先進工学部機能デザイン工学科）

参加費：

【事前】：一般（正会員）5,000 円（不課税）

一般（非会員）8,000 円（消費税込み）

学生（会員） 2,000 円（不課税）

学生（非会員）4,000 円（消費税込み）

学部 4 年生以下の学生、非会員招待講演者、協賛企業参加者 無料
（要事前参加登録）

【当日】：一般（正会員）8,000 円（不課税）

一般（非会員）10,000 円（消費税込み）

学生（会員） 4,000 円（不課税）

学生（非会員）6,000 円（消費税込み）

公開講座「見える、見せる、バイオイメージング」

日程： 2024 年 9 月 28 日（土）13:30-17:00

25 年度事業計画

第 34 回学術集会

日程： 2025 年 9 月 26 日（金）～ 27 日（土）

会場： くまもと県民交流館パレア

大会長： 檜垣 匠（熊本大学大学院先端科学研究部）

公開講座

日程： 2025年9月28日（日）

会場： くまもと県民交流館パレア

9. 賞選考委員会（田中）

23年度事業報告

1) 奨励賞：梅澤 雅和（東京理科大学・先進工学部）

24年度事業経過報告

1) 奨励賞：以下の3名の方に授与

秋田 佳恵（日本大学生物資源科学部）

石井 宏和（生命創成探究センター 生理学研究所）

毛内 拓（お茶の水女子大学 基幹研究院自然科学系）

（五十音順）

25年度事業計画

1) 奨励賞について、学会ホームページに推薦のお願いを掲載予定。

10. 研究助成選考委員会（菊池）

23年度事業報告

1) 特になし

24年度事業経過報告

1) 特になし

25年度事業計画

1) 特になし

11. 講習会委員会（加藤(薫)）

23年度事業報告

1) 24年開催に向け準備

24年度事業経過報告

1) 24年度講習会を計画中

25年度事業計画

1) 計画中

1 2. 国際交流委員会（鈴木(和)）

23 年度事業報告

- 1) 海外とのバイオイメーキング会議とのコンタクトを進めた

24 年度事業経過報告

- 1) 2026 年 3 月 21-25 日にメルボルンで開催される「第 22 回血管炎ワークショップ」のサテライトとして「医療とバイオイメーキング（仮題）」を準備を進めた

25 年度事業計画

- 1) 2026 年 3 月 21-25 日（メルボルン）「第 22 階血管炎ワークショップ」のサテライトとして「医療とバイオイメーキング（仮題）」の登録等開始

1 3. 新技術情報委員会（根本）

23 年度事業報告

- 1) 特になし

24 年度事業経過報告

- 1) 特になし

25 年度事業計画

- 1) 特になし

1 4. 男女共同参画委員会（洲崎）

23 年度事業報告

- 1) 男女共同参画学協会連絡会第 21 期運営委員会（オンライン開催）に参加
- 2) 第 21 回シンポジウム（10 月 14 日：ハイブリッド開催）年間活動報告を提出
- 3) 内閣府理工チャレンジ～女子学生・生徒の理工系分野への選択～リコチャレ応援団体として参加、理工系女子応援ネットワークに参加
- 4) 女子中高生夏の学校（8 月 5 日～7 日：4 年ぶりの対面開催）において「ポスターキャリア相談」に参加

24 年度事業経過報告

- 1) 男女共同参画学協会連絡会第 22 期運営委員会（オンライン開催）に参加
- 2) 第 22 回シンポジウム（10 月 12 日）参加予定
- 3) 内閣府理工チャレンジ～女子学生・生徒の理工系分野への選択～リコチャレ応援団体として参加、理工系女子応援ネットワークに参加
- 4) 女子中高生夏の学校（8 月 10 日～12 日）において「ポスターキャリア相談」に参加
- 5) 第 33 回学術集会において、DEI（Diversity, Equity & Inclusion）セミナー実施予定

25 年度事業計画

同様の活動を継続予定

15. その他

2023年度決算書（2023年1月1日～2023年12月31日）

日本バイオイメーjing学会

会長 岡 浩太郎 印

理事(財務担当) 太田 善浩 印

一般会計

収入

2022年度より繰越	7,252,066
学術集会戻し金（第32回）	940,797
会費	1,206,000
利息	12
収入計	9,398,875

支出

学会業務委託費	517,764
Bioimages誌出版費	218,000
バイオイメーjing誌印刷・送付	169,125
英文校正	47,951
HP作成維持費	71,500
男女共同参画	10,000
謝金・人件費	26,362
第32回学術集会準備金	500,000
奨励賞副賞	100,000
通信費	4,848
会議費	22,680
振込手数料	5,195
支出小計	1,693,425
2024年度への繰越	7,705,450
支出計	9,398,875

特別会計(国際学会準備金等)

収入

2022年度より繰越	4,290,669
収入計	4,290,669

支出

2024年度への繰越	4,290,669
支出計	4,290,669

2025年度予算案(2025年1月1日～2025年12月31日)

一般会計

収入

2024年度からの繰り越し	7,205,450
会費	1,200,000

収入計 8,405,450

支出

バイオイメージング印刷・送付	170,000
Bioimages 出版費	200,000
ホームページ管理費	71,500
謝金・人件費	30,000
英文校閲費	50,000
会議費	30,000
奨励賞・研究助成	100,000
男女共同参画(分担金 他)	95,000
学術集会準備金	300,000
雑費	10,000
学会業務委託費	500,000
予備費	6,848,950

支出計 8,405,450

特別会計(国際学会準備金等)

収入

2024年度からの繰り越し	4,290,669
---------------	-----------

収入計 4,290,669

支出

2026年度への繰越	4,290,669
------------	-----------

支出計 4,290,669

株式会社エビデントの評議員交代について

現評議員の荒井祐仁様より、本年度総会をもって評議員を交代するとの連絡がありました。

後任: 瀧本真一様

所属: 株式会社エビデント Head of R&D, MUS LSR Products

役職: Vice President

2025年度の各委員会（案）

○：委員長

1. 会長
加藤 晃一
2. 副会長
曾我 公平、田中 直子
3. 庶務
○曾我 公平
4. 財務
○太田 善浩
5. 企画
○鈴木 亮、竹本 邦子、橋本 香保子、長谷川 明洋
* 公開講座の企画を含む（学術集会付設の公開講座は大会長が企画）
6. バイオイメーシング誌編集
加藤 有介、菊地 和也、○朽津 和幸、曾我 公平、檜垣 匠、樋口 ゆり子、宮川 拓也
7. bioimages 誌編集
朽津 和幸、小島 清嗣、○小島 正樹、斎野 朝幸、洲崎 悦子、寺川 進、宮川 拓也
8. ホームページ編集
岡 浩太郎、小島 正樹、朽津 和幸、曾我 公平、○檜垣 匠
9. 集会
太田 善浩、加藤 薫、立野 玲子、○永井 健治
10. 賞選考
大塩 力、○田中 直子、寺川 進、浜口 幸久
11. 研究助成選考
○菊地 和也、鈴木 和男、根本 知己
12. 講習会
岡部 弘基、○加藤 薫、櫻井 孝司、佐々木 章、中村 岳史、
企業から（エビデント、カールツァイス、ニコン、浜松ホトニクス）
13. 国際交流
木原 裕、○鈴木 和男、鈴木 亮、永井 健治
アドバイザー A. Wheatley, J. Girkin, F. Maxfield, R. Hoffmann, N. Demareux,
Lowrel Bolin, D. Ehrhardt, M. E. P. Murphy, W. Dawson, M. Jaconi
* 国際バイオイメーシング学会の対応を含む
14. 新技術情報
加藤 薫、瀧本 真一、鶴旨 篤司、○根本 知己、晝馬 亨、三井 直人
15. 男女共同参画
加藤 有介、朽津 和幸、洲崎 悦子、○田中 直子、橋本 香保子、樋口 ゆり子、
鈴木 亮、行方 衣由紀

2025 年度日本バイオイメーjing学会役員（案）

会長（理事により互選：2 年任期）（2026. 12. 31 まで）

加藤 晃一 自然科学研究機構 生命創成探究センター

副会長（理事により互選：2 年任期）（2026. 12. 31 まで）

曾我 公平 東京理科大学 先進工学部

田中 直子 大妻女子大学 家政学部

庶務担当理事（理事により互選：2 年任期）（2026. 12. 31 まで）

曾我 公平 東京理科大学 先進工学部

財務担当理事（理事により互選：2 年任期）（2026. 12. 31 まで）

太田 善浩 東京農工大学 工学(系)研究科(研究院)

理事（16 名：4 年任期、2 年毎半数改選、評議員により互選）（現員 14 名）

2028. 12. 31 まで

太田 善浩、加藤 薫、加藤 晃一、小島 正樹、曾我 公平、永井 健治、檜垣 匠

2026. 12. 31 まで

菊地 和也、朽津 和幸、洲崎 悦子、鈴木 和男、鈴木 亮、田中 直子、根本 知己

特任理事（2 年任期）（6 名まで）（2026. 12. 31 まで）

大塩 力、浜口 幸久

評議員（2026. 12. 31 まで）（現員 35 名）

池水 信二、大塩 力、太田 善浩、加藤 薫、加藤 晃一、加藤 有介、川西 徹、菊地 和也、

朽津 和幸、小島 正樹、齋野 朝幸、洲崎 悦子、鈴木 和男、鈴木 亮、曾我 公平、

瀧本 真一、竹本 邦子、立野 玲子、田中 直子、高根沢 聡太、寺川 進、富田 光子、

永井 健治、中村 岳史、根本 知己、橋本 香保子、長谷川 明洋、浜口 幸久、檜垣 匠、

樋口 ゆり子、晝馬 亨、古野 忠秀、宮川 拓也、三井 直人、矢木 宏和

監事（2 名：2026. 12. 31 まで）

木原 裕

岡 浩太郎

名誉会員（非役員）

新井 孝夫、石村 巽、大木 和夫、柏木 浩、関塚 永一、脊山 洋右、高松 哲郎、田之倉 優、

中西 守、南谷 晴之、安岡 則武

2024年9月29日 評議員会資料

男女共同参画委員会より

(担当委員：洲崎悦子・朽津和幸・田中直子・橋本香保子・樋口ゆり子・加藤有介)

I 活動報告と今後の活動予定

男女共同参画学協会連絡会の活動に参加

●例年通りの活動を継続

(1) 運営委員会 年3回

*予定が合う範囲で出席(Zoomによるオンライン会議)

第22期総会・第1回委員会(2023年12月4日)：洲崎出席

第22期第2回委員会(2024年3月25日)：洲崎出席

第22期第3回委員会(2024年8月30日)：洲崎出席

*出席委員交通費・・・経費① 不要

*分担金 1口 10000円必要 ←太田先生支払い済み(4/5)・・・経費②

(2) 第22回シンポジウム(連絡会の年総会)

日時：2024年10月12日(土) 10:00~16:30

中央大学茗荷谷キャンパス オンラインとのハイブリッド開催

*活動報告をシンポジウム資料集に掲載予定 掲載料 2000円→無料

*参加費：参加人数・参加形式によらず1学協会あたり7000円必要・・・経費②

オンライン参加希望(田中直子先生、樋口ゆり子先生、洲崎)

(3) 内閣府「理工チャレンジ(リコチャレ)」に継続して「応援」団体として参加

*「理工系女子応援ネットワーク」に参加

(4) 女子中高生夏の学校「ポスターおよび進路・キャリア相談」今年度も対面開催

*2024年8月10日(土)~12日(月)

その中で、8月11日午後のポスターおよび進路・キャリア相談のセッションに参加

*ポスター・配布資料等の作成：田中直子先生 計13780円・・・経費④

*当日参加：田中直子先生、行方衣由紀先生、北村佳のんさん(東京理科大)、関舞花さん(東邦大)、西川真由さん(大妻女子大)、蜂谷里桜さん(大妻女子大)：教員2名、学生4名

*田中先生：交通費、行方先生と学生さん：交通費+謝金3000円 計33894円・・・経費④

経費④ 合計47674円使用 ←太田先生支払い済み

その他の活動

●委員会名の変更を継続検討中 2025年5月頃の評議員会を目途に決定する予定

●第33回日本バイオイメーキング学会学術集会において、セミナーを企画

9/30(月) 14:00-15:00

DEI (Diversity, Equity & Inclusion)セミナー

「無意識のバイアス」を再認識：次世代リーダーには聴いてほしい!

演者：日本大学生物資源科学部 食品開発学会 食品化学研究室

教授 熊谷 日登美 先生

本年度(2024) : 活動予算 95000 円

1. 連絡会運営委員会交通費(経費①)	0 円
2. 連絡会への分担金 : 1 口 (経費②)	10000 円
10 月連絡会シンポジウム 資料集への掲載料	0 円
参加費	7000 円
3. 理工系女子応援ネットワーク 応援会議 出席交通費(経費③)	0 円
4. 女子中高生夏の学校参加経費(経費④)	
ポスター・配布資料作製費	13780 円
交通費・謝金(6 名分)	33894 円
合計	64674 円
現在の残金	30326 円

来年度(2025) : 活動予算 95000 円

2024 年 9 月の大会時に承認必要(?)

1. 連絡会運営委員会交通費(経費①)	オンライン開催が定常化 8000 円→0 円へ	0 円
2. 連絡会への分担金 : 1 口 (経費②)		10000 円
10 月連絡会シンポジウム 資料集への掲載料	ここ 2 年は無料	2000 円
10 月連絡会シンポジウム 参加費等	これまで 0 円→8000 円へ	8000 円
3. 理工系女子応援ネットワーク 応援会議 出席交通費(経費④)		10000 円
4. 女子中高生夏の学校参加経費(経費⑤)		
交通費・謝金(6 名分:委員 2 名 + 関連学生 4 名)		40000 円
ポスター・配布資料作製費		25000 円
合計		95000 円

*ここ数年の支出を踏まえて適正化。総額としては、従来通りの予算を希望

*これまでを踏襲しつつ、活動を継続

*そろそろ、社会活動の活発化と同調して、委員長交代・メンバーの意見交換の活性化・活動の刷新を図る時では

日本バイオイメーシング学会 活動報告(2023年10月～2024年9月)

日本バイオイメーシング学会男女共同参画委員会
(洲崎悦子・就実大学、朽津和幸・東京理科大学、田中直子・大妻女子大学、
樋口ゆり子・京都大学、加藤有介・東京薬科大学、橋本香保子・千葉工業大学)

Activity Report of the Bioimaging Society (October, 2023 - September, 2024)

Gender Equality Committee in the Bioimaging Society (Etsuko Suzaki, Shujitsu Univ. ; Kazuyuki Kuchitsu, Tokyo Univ. of Sci. ; Naoko Tanaka, Otsuma Women's Univ. ; Yuriko Higuchi, Kyoto Univ. ; Yusuke Kato, Tokyo Univ. of Pharm. Life Sci. ; Kahoko Hashimoto, Chiba Inst. of Tech.)

Gender Equality Committee in the Bioimaging Society runs the activities to become conscious of “Gender Equality” to the members of the society. As an annual event, the members participated in the poster session of “Summer School for Female Students”. The Committee tries to keep promoting “Diversity, Equity and Inclusion” to the society.

<学会の紹介>

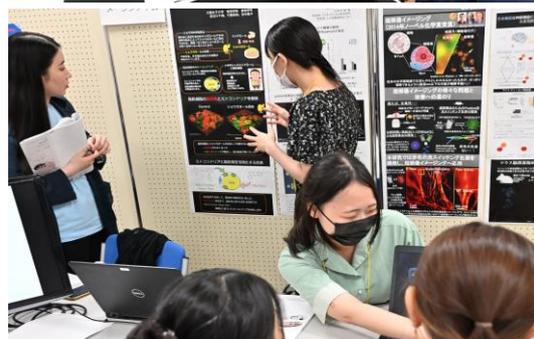
日本バイオイメーシング学会(1991年10月設立)は、「生命現象に関わるイメージング」をテーマとして掲げ、手法の開発から応用まで、極めて幅広い研究領域に関わる研究者の学際的交流の場である。学会誌として、国際英文誌「bioimages」と、邦文誌「バイオイメーシング」を刊行している。学術集会では、4つのベストイメージング賞を設けており、受賞者の画像は、学会HPのみならず、邦文誌の表紙や女子中高生夏の学校のポスターでも用いられている。学会として若手研究者を対象とした奨励賞を設けており、また、今年度からスカラーシップアワードも新設され、若手の活躍を期したサポートに力を入れている。

会員数は総数268名で、その内訳は一般会員数194名(うち女性36名、比率19%)、学生会員数74名(うち女性34名、比率46%)である。女性の会員比率は、昨年と比べて一般会員が3%、学生会員が10%の増加で、全体の会員比率は26%となり7%も増加した。また、理事・評議員の女性比率は昨年と変わらず、各々13%(15名中2名)、19%(36名中7名)である。また、女性評議員7名中の4名は男女共同参画委員であり、委員会活動を通じて学会内で認知され、他の委員会でも活躍している。

<男女共同参画への取り組み>

2005年2月に男女共同参画学協会連絡会への加盟を契機に学会内の一委員会となり今年度で19年を迎えた。現在は6名の委員で活動している

が、来年度から新たに1名が加わる予定である。女子中高生夏の学校への参加を重要な活動と位置づけ、今年度も田中委員を中心として6名(教員2名、学生4名)がポスター展示&進路・キャリア相談カフェに参加した(下図)。また、9月末の総会時には、日本大学の熊谷日登美先生をお招きして「無意識のバイアスを再認識:次世代リーダーには聴いてほしい!」と題するセミナーを開催する予定である。



今後は、委員会名やメンバーの刷新を検討し、連絡会と連携しながら学会の規模に見合った共同参画のための活動を継続していく予定である。